

ドクター メモ

乳がん

早期発見のために

検診を受けましょう

乳がんの「よらい」

- (1) 体の表にある乳房にできるがんなので、ほつておくと、がんが皮膚を破って表に出てきます。さらにそこから皮膚に広がるので、がんの「よらい」をまとったような、とてもとてもつらい状態になります。
- (2) 女性がかかるがんでは1番多いです。
- (3) 女性が亡くなるがんでは4番目ですが、30～64歳では1番多いです。
- (4) 年間4万人がかかり、1万人が亡くなります。
- (5) 一生のうちでかかる可能性は20人に1人です。

- (6) 若くてもかかるし、年をとってもかかります。80歳代でも乳がんにかかる確率はあまり下がりません。
- (7) 小さくても転移することがあります。悪性度は大ききだけでは決まりません。

- (8) かかって治療してから完全に治ったと言えるまで、10年かかります。他の多くのがんは5年と言われています。

早期発見から検診、治療

- (1) マンモグラフィ検診が普及すれば死亡率が下がることが分かっています。欧米で実績があります。

- (2) 体の表にある乳房にできるがんなので、自分でも発見できます。

- (3) 早期で発見できれば、かなりの確率で治ります。

- (4) 手術、放射線、ホルモン、化学、分子標的などいろいろな治療法があり、しかも世界共通の治療方針です。

- (5) 乳房を作り直す手術に健康保険が使えるものもあります。

- (6) 吹田市の乳がん検診のマンモグラフィ検診は、40歳以上の女性が受診でき、1000円です。65歳以上の女性は無料です。

- (7) 吹田市内にはマンモグラフィの機械がたくさんあります。検診が受けやすいので、ぜひ受けましょう。ことは、生まれ年が西暦で奇数年の人が受診できます。偶数年の人は来年です。原則、誕生日とその翌月に受診してください。詳しくは、かかりつけ医にご相談ください。

吹田市医師会

吉岡泰彦
よしかわ やすし